

毎日でもおいた猫アミズチに行く

カムループスの思い出(つぎ)

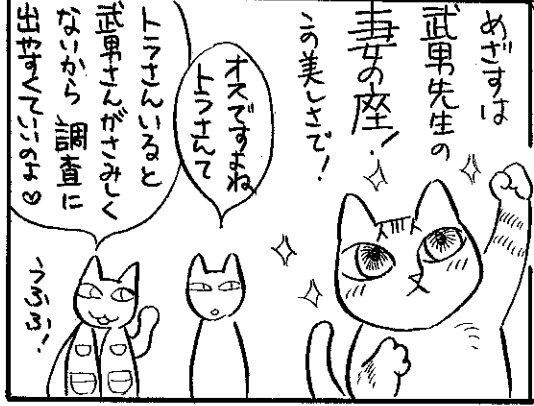
フィールドワークは
やっぱり長じつ



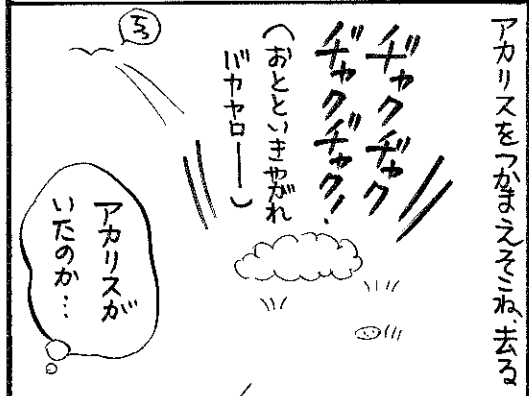
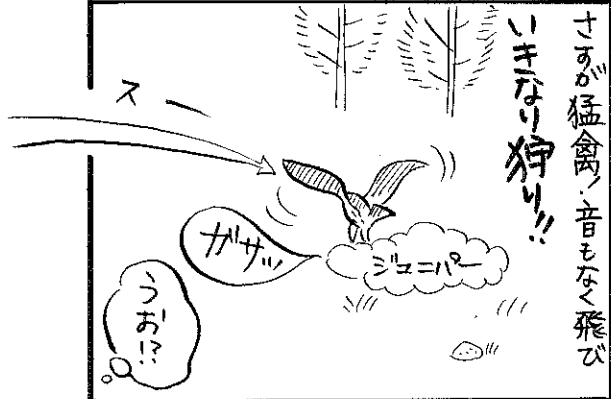
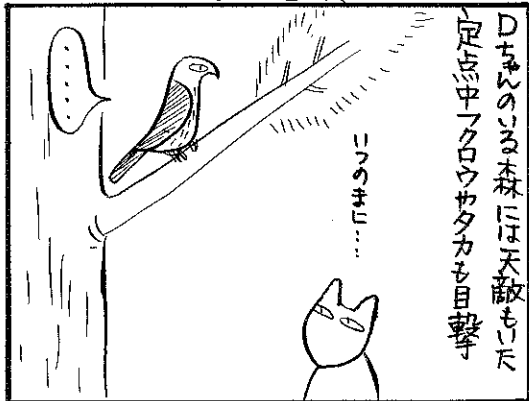
観察追加編

- カナダ・カムループス
2008. 8. 26 ~ 9. 19
- 2009. 8. 5 ~ 8. 28
- アフリカ・マリョナ、グラハム山
2010. 8. 29 ~ 9. 28

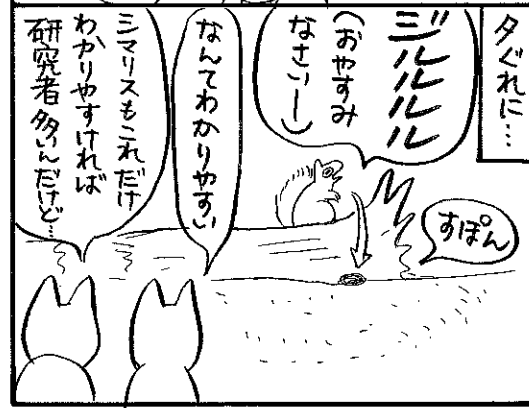
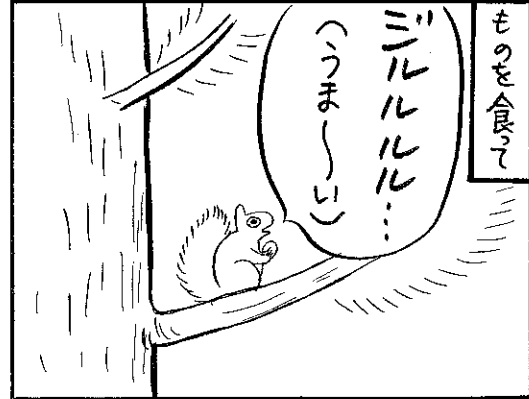
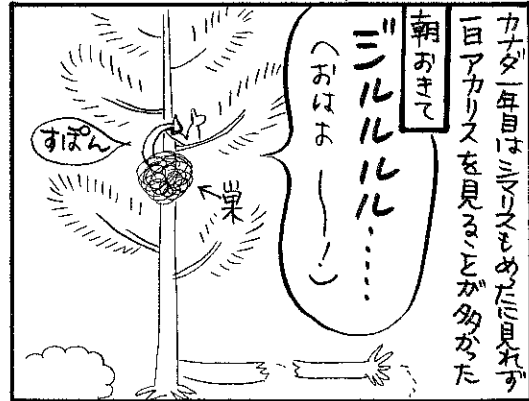
魔性のトラさん



食物連鎖




2008. アカリスDちゃんの秋の1日




2008 ある日のアカリスAちゃん

「田んぼのものがはらへてしまつてしまつた」

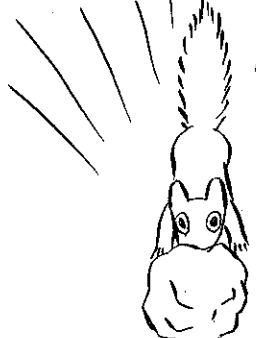


キッチンペーパーをつかもうとする
アカリスのAちゃん

「うまいことまるめて…」



「一目散に走つてくる…」



「うわ! 目の前」

「多分アレ 全用シート」

「ふんぎりで 私の思い出の 定点ベスト1」

「そのまはミドリの土穴に!」

小動物との別れ


「2年自カムルカスDちゃん消息不明」

「ミドリの土穴も くもの巣が…」

「新しいたべカスも なり…いなこのね Dちゃん…」

「あいたよーッ」

「ガラッ…」




「Aちゃんも消息不明…」

「ミドリの土穴に ネズミの干物が 哀しいわ…」


「しん…」

「トイレペーパー まるめて フンにする… ああAちゃん…」



「あんなにうなづいてると ある夕ぐれ小すなまが…」

「ミドリの土穴には 巨れまにいなこは はず…」



「故Aちゃん」と

「先生Aちゃんの ゆうれいが 出ました」

「おちつきなさい 空の巣に若者が 入りこんだのよ リン菓だもの ラッキーな子ね そろそろ時期よ」

「あれは あそーか」

「そろそろ木林はめぐつていくのだ…」

